



大山ゼミ (行政学) 説明会メモ

1. 大山ゼミの目標——独立自尊の市民と公務員の育成。
 - ① 豊かに善く生きる——まずは自己実現。
 - ② 最大多数の最大幸福のためにできることを行う——公共への関心と社会貢献。
 - ③ 市民と行政の責任を明確にする——権力の監視と可能性の芸術。

2. 大山ゼミの活動——毎週水曜はゼミの日。
 - ① 基本は本ゼミと、サブゼミ。
 - ② 本ゼミ=3年生は文献を読んで論点提示し議論、4年生は卒論中間報告。
 - ③ サブゼミ=三田祭研究。
 - ④ 夏・春合宿、ソフトボール大会やOB会、慶早合同ゼミ、ディベート慶央戦等。

3. 大山ゼミの特徴——慶應では数少ない行政と政策のゼミ。
 - ① 現代日本の国の行政を中心に、行政学・政策研究・ガバナンス論が研究できる。
 - ② たとえば、地域や世代間の利害調整が必要な政策は、民主主義的にどう立案・実施されるべきなのか、よいガバナンスとは具体的にどのようなものか、市民が政策や統治の情報を収集して評価するよい方法は何か、内外の先進事例はどうか等々といった問題が研究できる。

4. 大山ゼミの面接——先生とゼミ生による選考。
 - ① レポート課題(10月下旬に公表、12-1月頃に書いて郵送)と面接。
 - ② 民主主義やガバナンスの視点から、現代日本の政策・行政で重要と思う問題とその原因・解決策について考察するか、課題本についての書評。

5. 大山ゼミの就職——多様なキャリアと自己実現。
 - ① 行政学ゼミなので公務員志望者はやや多いが、大半は民間企業志望者。
 - ② 行政学研究の志望者(大学院)、大歓迎。
 - ③ いずれの道においても、市民の目線に立ち、民主主義やガバナンスの視点から、行政や政策の問題を解決できる人材をめざす。

6. その他——交換留学、ダブルスクールなど。
 - ① 交換留学は毎年1名前後いる。3年夏から1年間留学した場合、帰国時点で、3年生になるか4年生に上がるかを選ぶ。就活との関係。
 - ② ダブルスクールしている人は多い。配慮はとくにしていない(法学研究所の固定席を推奨)が、合宿等は自分の報告のときだけ出席することも可能。